

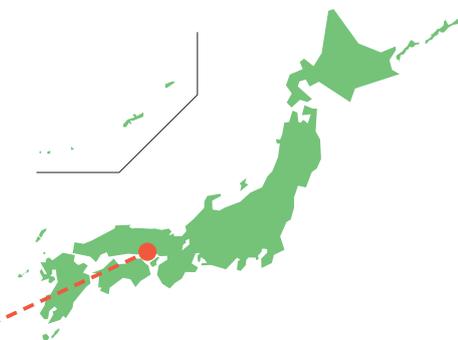
写真で見る

都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

あいおい
相生市 (兵庫県)



令和
5年
(2023年)



山陽新幹線開業50周年を
迎えた相生駅



地域振興課商工観光係
たちばなだい
立花大地さん

にしはりま 西播磨地域の玄関口 「相生市」

令和4年に市制施行80周年を迎えた相生市は、昭和37年から3年連続で単一工場での造船建造量が世界一になるなど、造船業を中心に発展してきました。初夏のペーロン祭や秋の紅葉、冬のカキなどを観光資源としています。

昭和47年には「相生駅」に新幹線が発着するようになりました。駅舎の大改修をはじめ、市内の様子も大きく変わりました。兵庫県西部に位置する西播磨地域や、隣接する岡山県を訪れるビジネス客や観光客の玄関口として、重要な役割を担っています。



昭和42年頃の相生駅

昭和
42年
(1967年)